

津野町の地域福祉活動が目指すもの

それぞれの地域で世話役や福祉活動をしている人、中学生などから出された意見や思いを基に、津野町の福祉課題を解決し、地域共生社会の実現を目指していくための住民主体の活動のキーワードを示しています。

活動のキーワード

こんな地域に！こんなことが必要！

<つながり>

- あいさつや声掛けを心掛ける（中学生、座談会）
- みんなが助け合う地域になりたい（老人クラブ役員、中学生、座談会）
- 声かけしたら、みんなが手伝ってくれるような地域（老人クラブ役員、中学生、座談会）
- 困ったと言えない人もいる。困っている人がいないか一人一人が気に掛ける（福祉委員、中学生、座談会）
- 定期的な声掛けや地域が一体となった見守り活動の実施（福祉委員）
- 近隣同士の見守り、声掛け、何かあれば行政・社協への連絡体制づくりが必要（配食ボランティア）

<活動>

- 若い人でボランティア活動のできる方を育てること（配食ボランティア、サロン世話人）
- 若い人も含めて地域の伝統や文化の継承と一緒に参加していくことが大事。（福祉委員）
- 子どもを通して地域とのつながりを（座談会）

<集い>

- 一人暮らし高齢者が多いので、一緒に食事したりは大事（サロン世話人）
- 誰かと一緒に食べるのはうれしい。（配食ボランティア）
- 介護予防の体操もみんなで行った方がよい。体操も楽しみ（地域サロン）
- とにかく笑うことが大事（地域サロン）
- 少人数でもこの集落でサロンや婦人会を続けたい（地域サロン）
- 耳が聞こえなくなるとサロンに来づらくなる。コミュニケーションがとりづらい（地域サロン、配食ボランティア）
- みんな集まれる場所、趣味を生かせる場が必要（老人クラブ役員）

<啓発・相談・学び>

- 情報を知らない人がいる。行き届いていない。気軽に相談できる場が必要（座談会）
- 回覧をまわせない家がでてきた。回覧も字が小さくて。（老人クラブ役員）
- ボランティア活動が地域に知られていない。広報が必要（配食ボランティア）
- 福祉の情報が若い人にも流す必要がある。（福祉委員）
- 免許返納してシニアカーが増えてくると、本人だけでなく周囲の人の知識も必要（座談会）
- 外から見えない障がいを理解するためにまず関わってもらうことが大事（精神保健ボランティア）
- 高齢になっても元気でいられるように（老人クラブ役員）

■役立つ

- ・高齢者の特技や経験、知識を地域の宝にしめ縄・ぞうりづくり、大工、左官、電気工事、測量士、氏神様のこと……（老人クラブ役員会から）

■集う・交わる

- ・年齢や障害のあるなしにかかわらず地域で気軽に集える場
- ・人と心遣いと情報が集まる地域サロンの活性化
- ・大切な小さなサロンや婦人会活動
- ・ボランティア同士のつながりの拡大
- ・年齢で分けたりしない地域内協働の活動

■学ぶ

- ・福祉活動している仲間同士での学び。楽しい講演会など
- ・地域の学び場。料理教室、シニアカー交通安全教室など

■つなぐ・つながる

- ・配食サービスなどのボランティア活動の継続
- ・若い世代でもボランティア活動がしやすい工夫
- ・ボランティアと地域の高齢者や障がい者とのつながり

■孤立させない

- ・一人暮らしの人も家族介護している人にも声かけ誘い出し
- ・「困った」と言えない人たちの発見とつなぎ
- ・コミュニケーションが取りにくい難聴の人への配慮

■協働する（地域・行政・社協・民生委員）

- ・地域だけで解決できない課題は行政や社協と一体となった取り組み
- ・地域の見守りと「いざ」という時の行政、社協への連絡体制づくり
- ・あったかふれあいセンターと配食ボランティアなど多様なつながり
- ・民生委員と福祉委員の協力体制、話し合いの場づくり